

二中の木

学校報
第9号
H27/09/04

能代市立
能代第二中学校
TEL52-5138

文化祭も成長の大切な場 励み、輝き、育つ二中学生！

にぎわいの二中祭

無限に広がる僕らの世界のサブテーマが付けられ、8月30日(日)に多くの保護者や地域の方々をお迎えして、第69回二中祭が開催されました。保護者や地域の方々と一緒に我が二中学生の活躍を目にするのは、また格別の喜びです。ご来校に感謝申し上げます。

二中祭に寄せて

文化祭や運動会といった学校行事は、地域の方々や生徒や学校が交流を深める絶好の機会でもあります。これまで、PTA活動、部活動など多くの面で保護者や地域の方々に支えていただいています。支援に対する学

校側の感謝の気持ちや生徒への思いを手紙の形にして開祭式で読ませてもらいました。

生徒のみなさんへ

これまで、準備や練習に一生懸命頑張ってきた二中祭がいよいよ始まりです。皆さんの頑張りに、心から拍手を送りたいと思います。さあ、二中学生一人一人が主役となって輝く時がやってきました。



今回の二中祭のテーマ「INFINITY」に出会い、込められた皆さんの思いを考える機会となりました。「INFINITY」が指す無限には、皆さんが持っている限りない可能性を強く連想させられます。可能性に希望を見出し、

鍛え志を打ち立てようとする二中学生にびったりのテーマだと改めて感じました。自らの可能性は無限と言い切る二中学生の潔さが大好きです。

家族と地域の方々に

皆さんは、アンジェラアキの「紙15の君へ」という曲を知っていますか。数年前の歌で少し古くなってしまったかとも思いますが、自分の中学時代の記憶が余りにも鮮やかに蘇り胸が締め付けられそうになる私にとっては、忘れることの出来ない曲になりました。歌詞にこんな部分があります。



泣きそう、消えてしまふような僕は、誰の言葉を信じ歩けばいいの？
ああ負けないで泣かないで消えてしまふような時は、自分の声を信じ歩けばいいの
いつの時代も悲しみを避けては通れないけれど、笑顔を見せて今を生きよう
今を生きよう
今を生きよう

二中生とよろしく

私たち職員は、生徒一人一人がよりよく生きるために何ができるのかを考



え実践を重ねてゆきます。教職員である前に、生徒が通る道を少しだけ早く通った人生の先輩として、どんな声かけが出来るのかという大人としてのマナーが試されているのだと思います。



友達や先生との心の交流、地域の明るい励ましを大きな力としながら、自分自身の声を信じて歩いて行ける、自分自身の頑張りを信じて歩いて行ける、自分自身の弱さに打ち勝てる、そんな子どもたちに育てたいと心から思います。それこそが「自主不屈友愛」の校訓精神の実現です。これから二中学生の活躍にご期待いただき、力強いエールをお送りくださいますようお願いいたします。

【終】